

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度～		根拠法令・例規等	医療法・備前市国民健康保険病院条例			
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり						
	中項目	基本施策	02	健やかに生き生きしたまちづくり						
	小項目	施策	07	病院事業						
事務事業名		09	吉永病院運営事業		担当課(室)	市立吉永病院 事務部	職・氏名	事務次長 則次芳江	電話	0868-84-2120

事業の実施		対象(誰・何に対して)	出資者である市民
目的(何のために)		目的	市立吉永病院の基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と計画的・効率的な病院経営の推進等を図るため
行政活動(どのような方法で)		行政活動	院内会議(幹部会議)や各種委員会を開催し、病院の経営方針をはじめ、院内の安全の確保や、患者サービスの向上を図るための方法を検討し、改善実施する
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		意図する成果	患者さんに親しまれ、信頼され、必要とされる病院とする。また、経営の改革と基盤強化に取り組み、安定した病院経営とする。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
活動	院内会議	回	12	12	12
	補助対策委員会(9人)	人	12	12	12
	給食委員会(8人)	人	12	12	12
	医療安全管理委員会(15人)	人	12	12	12
	感染防止委員会(18人)	人	12	12	12
実績	直接事業費	千円	30,600	63,011	28,790
	必要人員人件費	千円	4,751	49,332	47,055
	事業費計	千円	76,265	112,343	75,845
	国・県支出金	千円	284	284	284
	受益者負担金	千円			
	一般会計繰入金	千円			
財源	市	千円			
	収益的収入	千円			
	一般財源	千円	75,981	112,059	75,561
受益者負担比率		%			

結果指標名					単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	院内会議		説明	会議出席者延人数				
	結果指標	量		198	210	260		
	対前年	比	%	113.1%	106.1%	123.8%		
	活動コスト	単	円	3,861,000	4,124,137	2,359,348		
結果指標②	各種委員会		説明	会議出席者延人数				
	結果指標	量	人	589	590	600		
	対前年	比	%	130.0%	100.2%	101.7%		
	活動コスト	単	円	11,485,500	11,586,863	5,444,651		
単位当たりコスト		円	19,500	19,639	9,074			

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
決算における純利益の計上及び留保資金の確保	目標値(A)	10,000	10,000	10,000	18億円以上
	実績値(B)	12,855	△ 357,962	△ 4,989	到達目標年度
	達成率(B/A)	128.6%	-3579.6%	-49.9%	25年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
安定した病院経営を維持するため、成果指標を純利益1千万円に設定。また、23年度以降、病院建設費にかかる企業債元金の償還金が始まることから、引続き運用資金の拡充を図る必要がある。このため到達目標値として、留保資金18億円以上を設定した。 ※(流動資産-流動負債) 18年度=1,551,035千円 19年度=1,689,460千円 20年度=1,698,150千円					

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>		A	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	判定理由・課題認識		
		<input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	・平成21年2月オーダーリングシステムを導入し、患者待ち時間の短縮に向けた対応を始めた。		
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	・市民からの要望に対し、各種委員会で実情調査とその対応について協議。結果を院内掲示等により回答し、対応可能なものは早期に改善するなど地域住民ニーズに応えた。		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている	・毎年の市民意識調査において、病院事業は重要度が高いと評価されている。医師・看護師の確保に努め安定した医療提供の確保が必要。				
<input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である					
<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている					
<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている					
<input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある					
<input type="checkbox"/> 類似した事業がある					
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	効率性評価<A~E>		B	
	<input checked="" type="checkbox"/> 説明 二にそった医療提供	判定理由・課題認識			
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している	判定理由・課題認識		
		<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある	・委託・賃借料の複数年契約の実施等により経費削減を行う。		
<input checked="" type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	・旧病院の取り壊しが繰り越し事業となり、特別損失が増加した。				
<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	・職員全員がコスト意識を持ち業務に当たる。				
<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である					
<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある					
<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない					
<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある					
<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている					
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	有効性評価<A~E>		B
		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	判定理由・課題認識		
<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している	旧病院の取り壊し工事の繰越の関係で若干の赤字となり、目標を達成できなかったが、今後は改善できるものである。				
<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている					
<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない					
<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している					
<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある					
<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している					
<input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている					

平成21年度の状況		延べ260人		結果指標量②		延べ600人		成果指標量		10,000千円	
目標値	結果指標量①	状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		
				○							
説明		経営安定化を維持するため、経営分析等を行うとともに、院内各種委員会の活性化を図り、経営効率を高める。									

総合評価		評価区分<A~E>		B
今年度は、経常損益では23,533,548円の黒字となったが、旧病院の取り壊しが繰り越し事業となったため、収益的収支では2年連続の赤字決算となった。院内会議で①経営改善に向けた検討 ②患者からの意見に対する対策の検討 ③各部署の課題を検討 ④情報の共有 ⑤診療報酬の減点対策等を協議した。その他各種委員会で医療事故及びヒヤリハット事例の検証と対策また、院内感染予防対策等を協議した。職員の資質向上のため、積極的に研修会への参加を促すとともに、院内研修を毎月1回以上開催し、接遇向上、専門領域の知識習得に努めた。今後とも、職員の資質向上と、モチベーションを高め、安定運営をめざす。				

平成22年度以降の方向性・内容		方向性		拡充		現状継続		見直し		縮小		整理統合		休止		廃止・完了	
説明		公立病院改革プラン及び公営企業経営健全化計画に沿って事業の検証と見直しを毎年行う。															
改善がある場合	評価の視点	改善内容				改善時期				改善により期待される効果							
	妥当性	公立病院改革プランに基づき、事業の分析と見直し				毎年				経営基盤の安定と長期的事業運営の確保							
	効率性	医療スタッフの確保と医療機器の整備				毎年				医療サービスの向上と安全・安心な医療提供の充実							
	有効性	経営分析・検討による適切な経営状況の把握				毎年				健診部門の収益増による安定経営							